

住まいが被害を受けたときに 最初にする事 **その2**

防災・減災について考えよう vol.19

問 危機管理室 (☎ 62-3145)

住まいが被害を受けたときは、早く家の片付けや復旧作業に取り掛りたくなるかもしれませんが、その前に、まずやっておきたい重要なことがあります。

電気を復旧する

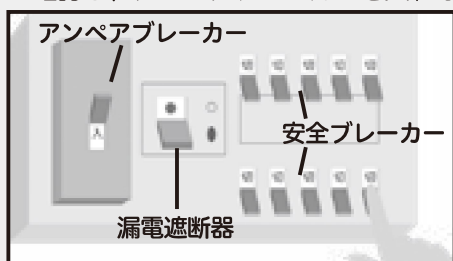
★電気の復旧と注意点

停電していた場合、急に電源を入れると、通電火災などの二次災害が発生する危険があります。次の点に注意しましょう。

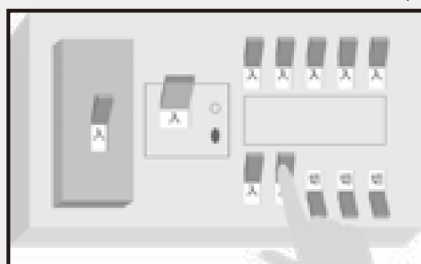
- ①避難などで家を離れるときは、ブレーカーを切っておく。
- ②停電時は、すべてのコンセントからプラグを抜く。

★電気を復旧させるとき

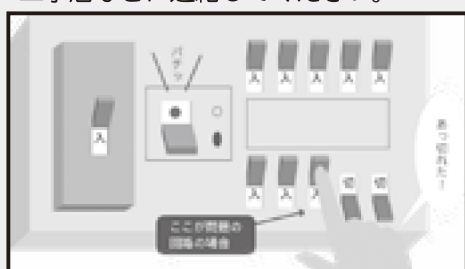
- ①ブレーカーがすべて「切 (OFF)」になっているか確認し、アンペアブレーカーを入れる。



- ②漏電遮断器を「入 (ON)」にする。
安全ブレーカーを一つずつ「入 (ON)」にする。



【注意】安全ブレーカーをONにしても、漏電遮断器が再び自動的に「切 (OFF)」になってしまう場合は、漏電のおそれがあります。ブレーカーを切って電気工事店などに連絡してください。



画像出典：東京電力 / 日本ガスメーター工業会

ガスを復旧する

★ガスの復旧と注意点

ガス漏れがあると爆発や火災などの危険があります。復旧させるときには、次の点に注意しましょう。

- ①ガスのおいがないか確認
ガス漏れのおそれがある場合は窓を開ける。換気扇や火は使わない。
- ②プロパンガスはガスボンベを点検
ガスボンベが元の位置から動いてしまった場合は、復帰する前にガス業者に点検してもらいましょう。
- ③ガス漏れや異常がなければ、マイコンメーター(※)でガスを復帰

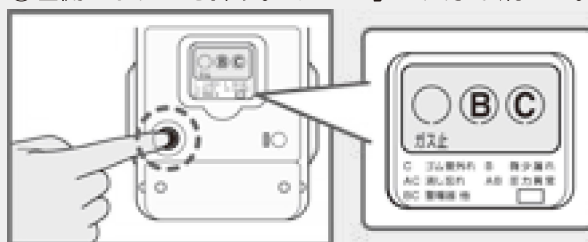
※震度5相当以上の大きな揺れを感知すると自動的にガスを止めるガスメーターです。

★LPガスを復旧させるとき

- ①器具栓と未使用のガス栓をすべて閉める。



- ②左側のボタンを押す。「ガス止」の文字が消える。



- ③液晶の文字とランプが点灯したら1分間待つ。
文字とランプが消えたら復旧完了。使用可能に。

